



2020年4月28日

各位

会社名 株式会社三菱ケミカルホールディングス
 代表者名 代表執行役社長 越智 仁
 (コード番号: 4188 東証第1部)
 問合せ先 広報・IR 室長 清水 治
 TEL. 03-6748-7120

2020年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、前回公表しました2020年3月期の通期業績予想及び1株当たり配当予想を修正しましたのでお知らせします。

記

1. 通期の業績予想の修正

(1) 2020年3月期通期連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2020年2月6日発表)	億円 36,300	億円 2,100	億円 1,820	億円 1,220	億円 810	円 銭 57 04
今回修正予想 (B)	35,810	1,950	1,440	880	560	39 44
増減額 (B-A)	△490	△150	△380	△340	△250	
増減率 (%)	△1.3%	△7.1%	△20.9%	△27.9%	△30.9%	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	38,403	3,141	2,948	2,167	1,695	119 22

税引前利益 前回発表予想 1,590億円 今回修正予想 1,220億円

注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

売上収益、コア営業利益、営業利益及び税引前利益については、非継続事業を除いた継続事業の金額を記載しております。

(2) 業績予想修正の理由

新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響等により、ケミカルズセグメントにおいてMMA・炭素等の需要が落ち込み、市況が前回発表予想(2020年2月6日発表)を下回ること、機能商品セグメントにおいてディスプレイ向け光学用途・半導体用途・自動車用途における更なる需要の低迷があったことから、売上収益及びコア営業利益は前回発表予想を下回る見通しです。

また、コア営業利益の減少に加え、当第4四半期において、ヘルスケアセグメントにおいてメディカゴ社(本社:カナダ・ケベック市)が実施していた季節性インフルエンザVLPワクチンの米国での開発中止を決定したことにより当該技術に係る無形資産(仕掛研究開発費)について減損損失241億円を計上したことから営業利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益についても前回発表予想を下回る見通しです。

<ご参考>セグメント別損益(コア営業利益) (億円)

	今回修正予想	前回発表予想	増減額
機能商品	630	700	△70
ケミカルズ	300	450	△150
産業ガス	890	890	-
ヘルスケア	140	60	80
その他	△10	-	△10
合計	1,950	2,100	△150

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
前回予想 (2019年5月14日発表)		—	20	00		—	20	00	40	00
今回修正予想						—	12	00	32	00
当期実績(2020年3月期)		—	20	00						
前期実績(2019年3月期)		—	20	00		—	20	00	40	00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、企業価値の向上を通して株主価値の向上を図ることを株主還元の基本方針としており、配当につきましては、今後の事業展開の原資である内部留保の充実を考慮しつつ、中期的な利益水準の30%を連結配当性向の目安とし、安定的に配当を実施することとしております。

当期の期末配当予想につきましては、上記の通り、コロナ禍の拡大等により通期の親会社の所有者に帰属する当期利益予想を前回から30.9%下方修正すること、また、コロナ禍の影響が現時点でも引き続けていることに伴い、誠に遺憾ながら、1株当たり期末配当金を前回発表予想から8円減配の12円に修正致します。これにより、1株当たり年間配当予想は32円となります。

なお、当社は取締役会決議により期末配当を行うことができる旨を定款に定めております。

<ご参考>

配当金の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 予想
中間配当金(円/株)	7円	8円	15円	20円	20円
期末配当金(円/株)	8円	12円	17円	20円	(予想)12円
年間配当金(円/株)	15円	20円	32円	40円	(予想)32円

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上